

JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

氏名*	杉浦 巨樹
フリガナ*	スギウラ ナオキ
所属団体*	Projecto Integra
活動内容* (200 文字以内)	在留日系ブラジル人を中心とした外国人労働者が日本の中小企業で正社員として雇用されることで、人手不足、後継者不足、技術継承者不足、空き家問題、外国人児童の日本語教育問題等を包括的に解決するプロジェクト『ProjectoIntegra』という活動をしています。具体的には、『人的資本の開発と育成型雇用』という考え方を軸にしたセミナー、コミュニティトークイベント開催、日本語教室、ブラジル総領事館教育フェアでの講師、外国人専用求人情報広告サイト運営、企業への外国人労働者定着支援、ブラジル教育本の出版協力と各市町村の図書館へ図書寄贈等を行っています。
活動カテゴリー*	<input checked="" type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理・環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input checked="" type="checkbox"/> 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input checked="" type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input checked="" type="checkbox"/> その他（多文化共生）
紹介者氏名	本間嘉彰
紹介者所属団体	一般社団法人岡崎青年会議所
JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか？ *	青年会議所会員からの推薦
紹介理由 (200 文字以内)	<p>愛知県だけでなく、県外、ブラジル日本領事やブラジル本国などの海外からも注目を集めるほどに、精力的に活動されている青年経済人です。</p> <p>外国人や日系人を労働者個人としての価値を高めさせ、人的資源としてだけでなく地域において、経済的にも必要とされる人へと昇華させる活動を行っています。</p> <p>彼のポジティブさと行動力はまさに「人間力」溢れる人柄と思います。自信を持って紹介させていただきます。</p>

顔写真*



経歴
(200文字以内)

2008年：個人事業エフピーシードとして、FP事務所として起業
2011年：エフピーシードを法人化し株式会社リードルを設立
2017年：株式会社 InboundJapanService を設立。外国人向けモバイル決済サービス事業を開始。
2018年：在留日系ブラジル人支援活動 NPO Projecto Integra を立ち上げる。2ヶ国語による様々なセミナーを開始し在留ブラジル人で有名講師となる。株式会社 InboundJapanService で在留ブラジル人等専門の求人情報広告『ALO 仕事』を開始。
2019年：在留日系ブラジル人 1000人以上を集めたトークイベントを開催成功させる。ブラジル本国の政財界誌『theWINNERS』より取材を特集記事で掲載され活動がブラジル本国でも注目される。

活動PR1*
(200文字以内)

SDGs4・8・10・11



在留ブラジル人コミュニティ国内最大級トークイベントをブラジル人と共同開催！
来賓は、愛知県知事や知立市長（開催地）等にお越しいただきました。また、登壇もしていただきブラジル人参加者へ行政の取組や多文化共生等のヘメッセージを発信して頂きました。
スピーカーは、ブラジル本国で活躍する著名人3名が来日する。ブラジル本国とWEBを使ったLIVE配信も実施。ブラジル本国へも開催地愛知県知立市を中心に日本を広く発信する。在留ブラジル人へ日本での正社員雇用への挑戦、起業家精神の育成、日本語教育の重要性や文化の理解、今後から何をすべきか等の考え方を発信する。

活動PR2*
(200文字以内)

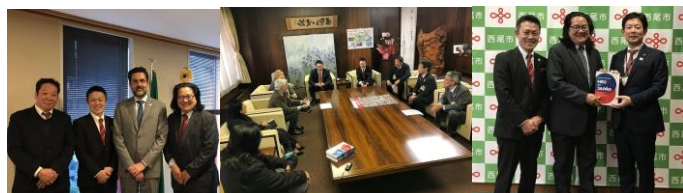
SDGs4・8・10・11



ブラジル本国を代表する政財界誌『the WINNERS』へ特集6ページで掲載
日本国内における中小企業の人手不足を在留ブラジル人が正社員雇用化することで解決するプロジェクト『ProjectoIntegra』の活動や『人的資本の開発と育成』という考え方が日本の深刻な人手不足問題を在留ブラジル人が解決する可能性にブラジル政財界誌の編集長が強い関心を持ち直接取材を受ける。特別にポルトガル語・英語・日本語の3ヶ国語による6Pの特集記事で掲載される。併せて在日本総領事の野口氏も記事を寄稿され日本特集としてブラジル本国の経営者へも注目を集める。

活動PR3*
(200文字以内)

SDGs4・8・10・11



ブラジル大使館やブラジル総領事館との連携
活動がブラジル大使にも届きプロジェクトを報告する。2020年に行う30周年記念事業への参加協力を依頼される。
全国で最も外国人比率の高い小学校がある知立市へブラジル総領事による初の公式会談をコーディネートする。林市長との対談で領事館と知立市の双方で外国人教育等の連携協力をする機会を作る。
プロジェクト顧問の篠田カルロス氏がブラジル領事館等の後援を受けブラジル教育をまとめた本の出版に協力する。在留ブラジル人が多い地域へ著書の寄贈を進め在留ブラジル人の親に教育本を気軽に読める機会を作る活動を継続中です。

SDGsのゴールと
ターゲット番号及び
結びつきの説明

番号の記入 (4・8・10・11)



(4・8・10・11 : 2030年までに在留日系ブラジル人等の在留外国人労働者が日本人労働者と同等条件による健全な雇用契約及び働きがいのある人間らしい仕事につき、雇用と収入が安定することで子どもの不要な転勤等による義務教育教育の未就学を減らし、安定した住居に住み、在留外国人による地域商業圏の育成を達成する。

説明

(国内で深刻化する 1. 中小企業の人手不足、2. 後継者不足、3. 技術継承者不足、4. 空き家対策、5. 人口減少による地域商業圏の縮小、6. 外国人児童の教育問題を包括的

に解決するプロジェクトです。)

■質問事項 (全200文字以内厳守)

<p>質問1* (200文字以内)</p>	<p>活動を始めたきっかけを教えてください 1990年の入管法改正を機に多くの日系ブラジル人等が日本へ出稼ぎに来ました。そして、この30年間で労働者雇用の差別、医療福祉、子どもの教育、年金や介護など様々な問題で苦しんでいる事を知りました。また、日本では企業の人手不足が深刻でその解決策の1つを外国人労働者へ依存し始めています。しかし、先進国の中で日本は外国人雇用における後進国という位置づけになっていました。このまま、何も戦略がないまま中小企業が外国人労働者の雇用を拡大すると将来、大規模な問題に発展すると気が付きました。中小企業経営者の一人として、戦略的に今できることを始めました。</p>
<p>質問2* (200文字以内)</p>	<p>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン) 国籍や人種、性別等の差別なく、全ての人材を平等に人的資本として考え開発・育成し各地域の様々な企業を国際化させます。そして、働く従業員の家庭も国際化し、地域が国際化し、真に日本社会の国際化が実現します。その過程で海外の人達との距離感(心の距離、経済的距離、地理的距離、政治的距離感)が修正され、中小企業やそこで働く人材が国際的に活躍することで、今までにない新たな商業圏が様々な地域で形成されます。そして、世界中の企業から、人的資本が生み出す技術等が求められる社会を実現。</p>
<p>質問3* (200文字以内)</p>	<p>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション) ・セミナー活動：在留日系ブラジル人等と日本企業の両方へ『人的資本の開発と育成』という考え方とそれを実現する手法『育成型雇用』への参加を推進。 ・フリーペーパー『PROJECTintegra』発行：考え方を広く普及推進。 ・日本語教室『社長とにほんご』を開催：中小企業経営者等を先生に在留日系ブラジル人と交流し双方が無料で学べる活動推進。 ・ブラジル総領館等後援のブラジル教育本を各市町村の図書館へ寄贈。 ・ブラジル大使館や領事館と連携し30周年事業への参加を通じた情報発信など etc</p>
<p>質問4* (200文字以内)</p>	<p>あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト) ・在留ブラジル人コミュニティへ、日本で成功する為に必要な働き方に対する意識改革やライフプランやキャリアプランを考えて行動すること ・中小企業経営者には、在留ブラジル人等を正社員雇用することで全ての労働者を人的資本と考え開発し育成することの重要性に気付き、会社に強みを持たせ、社内を国際化し、地域商業圏の中で未成熟な市場へ挑戦する発想力を生む ・地方行政には、増加する外国人労働者への日本文化教育や外国人児童の教育と発達障害等の心の問題への総領事館と協力した戦略的な対応へ</p>
<p>質問5* (200文字以内)</p>	<p>あなたの考えるリーダーシップをお答えください リーダーに必要な事は全てJCで学ぶことができたと考えております。具体的には、地域を愛し誰かがやらなければならない課題に対し先頭に立って目標を掲げ、嫌な事は全て盾となって受け止め、何かあれば責任を取って仲間を守りきる覚悟を持ち、どんな逆境もはね返し、掲げた目標に向かって突き進む。目標達成の過程では、多くの人を巻き込み仲間を増やし、寛容に様々な意見を聞き、その中で最適な方法の選択へ導ける調整力や判断力、コミュニケーション力が必要です。全てがバランスよく備わっていても、足りない能力は、持っている人材を発掘し育成しながら導く能力で補う。</p>

■推薦者情報

<p>ブロック名*</p>	<p>愛知</p>
---------------	-----------

青年会議所名*	一般社団法人岡崎青年会議所
担当役職*	副理事長
担当者氏名*	佐藤 伸
フリガナ*	サトウ シン
推薦理由* (200 文字以内)	<p>人的資本として経済に深く入り込んでいるが、社会というコミュニティから孤立している存在であった、在日外国人や日系人に焦点を当て、彼らの職業安定だけでなく社会的地位の向上を図り、日本社会との共生の仕組み作りをしています。</p> <p>彼の行動力は一つの地域に留まらず、企業、領事、日本の自治体を巻き込んでいます。その熱意は尽くしたいという“人間力”そのものであると考えられ、地域を代表する若者として推薦致します。</p>